

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 23 年 12 月 26 日 ～平成 24 年 3 月 9 日

2 事業者情報

事業者名称（施設名）： 生活介護事業所 シャローム	種別：障がい者生活介護
代表者氏名：理事長 及川 忠人 管 理 者：施設長 北村 嘉孝	開設年月日 平成 12 年 4 月 1 日
設置主体：社会福祉法人 カナンの園 経営主体：社会福祉法人 カナンの園	定員（利用人員） シャローム：20 名
法人所在地：二戸郡一戸町中山字大塚 4-7	TEL：0195-36-1026 FAX：0195-36-1027
事業所：二戸郡一戸町奥中山字西田子 1447-3	TEL：0195-35-2883 FAX：0195-35-2884

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○利用者の所得保障と地域のかかわりを基本に捉えた事業活動の推進

生活介護事業所シャローム、就労継続B型事業所ウィズは、社会福祉法人カナンの園の「使命」に記す“一人ひとりの願っている暮らしを実現するために、地域社会に働きかけ連帯しつつ、一人ひとりの必要を満たしていく”との考え方を踏まえ、利用者と地域のかかわりを基本に捉えた支援・事業活動を推進している。

具体的には、就労、社会貢献事業については、切れ目のない作業量の確保と販路の拡大を図り、利用者の所得補償（生活の質の向上）につながる成果をあげている。自宅や地域のケアホーム等から事業所への通勤支援、生活・作業活動を通して地域との関係づくり（特製のせんべい生産・販売活動、ペットボトル等のリサイクル活動、農家との連携による作業貢献）、さらに利用者の個別ニーズに対応し地域で開講している教室（造型、ピアノ、陶芸）への参加支援、施設開放を兼ねた地域住民や児童、協力者、保護者との交流事業（さくら市、クリスマス会、カナン祭り）など、年間を通して多様な活動を展開しており、地域からも高く評価されている。

◇ 改善が求められる点

○中長期計画の策定検討は、期間を定めた取組の検討

社会福祉法人カナンの園は、知的障がい者分野において、法人設立以来 40 年にわたって、先駆的・開拓的事業活動を推進して来た。この間、中長期計画に相当する「カナンの園将来構想」を第 5 次（1997～2001）まで策定し①居住施設・基幹施設整備、②自立生活支援、③在宅・地域生活の推進に取り組んできた。ここ 10 年間は「脱施設」の道を探りつつも、中長期計画を定めない状態であったとの反省から、平成 23 年度において「第 6 次将来像検討委員会」を立ち上げ、次期中長期計画策定への作業を開始したところである。しかし、検討作業に当たっては、一定の期間を定め、方向付けが必要と思われる。障害者自立支援法等の法制度等の動向を踏まえた中長期計画の立案、策定が求められる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

(シャローム)

基本理念から始まる基本方針等、事業所運営に至るまでの過程が明文化されておらず具体化が求められている。法人本部と連携をとって明確にしていきたい。事業の主軸である利用者支援の充実は事業者の「思い」が先行している傾向が否めず、第三者・利用者の方々に説明できる客観的な根拠に基づいた支援のあり方が求められている。今回初めての受審であり、自己評価の過程で共通の「言葉」を検討・確認できるよい機会となった。利用者支援を実質化できるよう本取り組みを強化していきたい。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果 (別紙)